

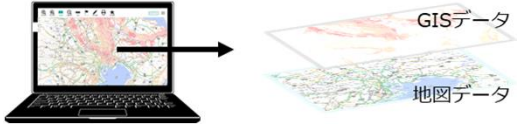
国土数値情報の概要①

参考資料①

- 国土交通省では、土地利用、行政区域、災害リスク情報、公共施設、公共交通等の、国土に関する基礎的な地理空間情報をGISデータに整備し、国土数値情報として無償で提供しています。国土・地域計画策定における利用、民間でのビジネス利用や、研究等に幅広く活用されています。

GISデータとは

- GISデータは施設（点）、鉄道等の線状物（ライン）、指定区域（面・メッシュ）などについての位置情報（緯度・経度）に加え、それぞれの地物に関する属性情報（例：施設名や鉄道路線名等）を保有したデータ。
- GISソフトを用いることにより、地図の上に図形として表示し、属性情報を用いて必要な情報を抽出したり、他のデータと重ね合わせて空間的な分析を行うことができる。

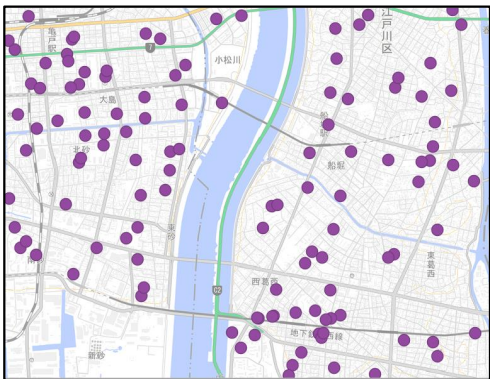


主な整備済み項目（令和6年6月現在）

国土の骨格	行政区域、道路、河川、鉄道、港湾、空港、バス停など
土地関連	土地利用、地価公示、都道府県地価調査など
指定地域	都市地域、人口集中地区、用途地域、過疎地域など
防災関連	洪水浸水想定区域、津波浸水想定、土砂災害警戒区域、避難施設など
公共的施設	市町村役場、公的集会施設、学校、福祉施設、医療機関など
その他	人口推計メッシュ、位置参照情報など

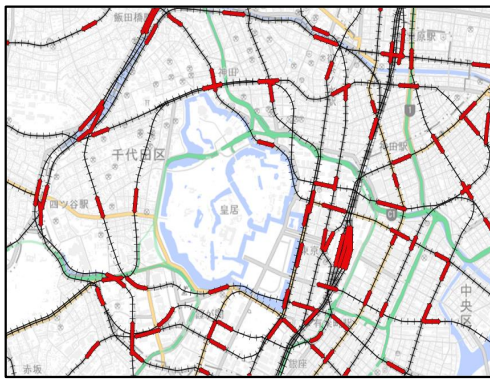
データの例

学校（点）



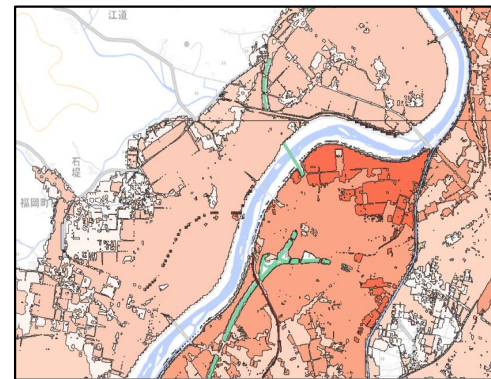
学校教育法に規定する全国の小学校・中学校等について、点データに、分類や名称を示す属性情報を付与して整備

鉄道（線）



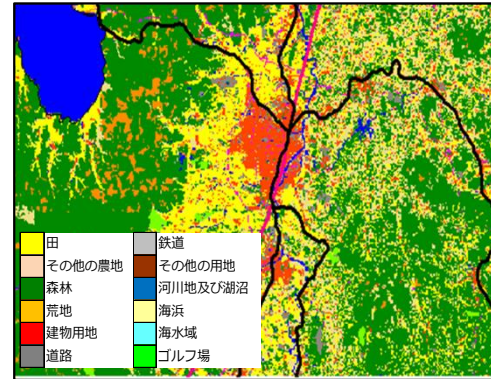
全国の鉄道の路線や駅について、路線形状（線）を示す線データに、路線名や運営会社等の属性情報を付与して整備

洪水浸水想定区域（面）



河川管理者から提供された洪水浸水想定区域図の情報をもとに、面データに、浸水深を示す属性情報を付与して整備

土地利用（メッシュ）



衛星画像を用いて100mメッシュ単位で全国の土地の利用状況を判読。属性情報として付与して整備（昭和51年より継続して整備）

- ・1974年から50年間継続的にデータ整備。
- ・2001年にダウンロードサイトを開設。一般ユーザ向けに無償公開
- ・2016年からshapeファイル形式に加え、WebGISで利用できるGeoJSON形式を提供開始
- ・**近年ダウンロード数が急増** 01年度 50万件 → 22年度 155万件 → **23年度 211万件**

1974年 国土数値情報の整備を開始

- ・国土計画の策定のためにデータ整備を開始
- ・公共機関や研究機関に限定して提供

2001年 ダウンロードサイトを開設

- ・一般ユーザ向けにオープンデータ化

2016年 データ形式の多様化

- ・WebGIS利用可能なデータ形式
(GeoJSON形式) での提供開始

2023年 これからの国土数値情報の検討

- ・「今後の国土数値情報の整備のあり方に関する検討会」の設置

